

山形県「未来に伝える山形の宝」事業

=うつくしい

第6号

うづぐすえ

平成30年3月

発行：東北文教大学 地域連携

ボランティアセンター

東北文教大学・南山形地区創生プロジェクト委員会



《平成29年度 実践報告》

実践プラン1 「2万年の歩みを刻む南山形を知る・楽しむ」活動

学生による野外ミュージアム「周遊ガイド」を実施！

山形新聞掲載！

実践プラン1では、南山形地区エリアである「自然・歴史野外ミュージアム」を巡り、学びと観光による地域の活性化に向けた活動として、昨年度作成した3つの周遊コースガイドツアーを計画中です。そこで今年度は、ガイド養成を兼ね、その予行練習として、12月10日に学生による「周遊ガイド」を試みました。南山形の自然や歴史に詳しい地域の方々に補足をいただきながら、学生が実際に各スポットのガイドを務めました。その様子は、山形新聞にも掲載されました。



「狼石と茂吉」の看板設置！



昨年度の須川の「氷河期の埋没林」と「片谷地一本スギ」の看板設置に引き続き、今年度は「狼石」の、看板を製作・設置を行いました。また、より多くの方々に足を運んでいただけるよう、昨年度設置した「氷河期の埋没林」の看板がある周遊コースの草刈り作業を行い、文化財（文化資源）の保存・整備に努めました。ぜひ立ち寄って、看板をご覧ください。自然と歴史を感じながら楽しんでいただけたらと思います。

平成30年度活動計画

平成30年度は、プロジェクト委員と学生の周遊ガイドスタッフを養成し、南山形地区・市外・県外の方々に、南山形地区の自然と歴史を巡っていただくための広報活動として、「自然・茂吉コース」、「いにしへの郷コース」、「旧羽州街道コース」の3つの周遊コースそれぞれのガイドツアーを計画しております。なお、ツアーに関する詳細は現在検討中ですので、日程や参加者募集等につきましては、決まり次第お知らせ致します。

実践プラン2 「南山形地区ガイドマップ」作成

第2弾「自然・歴史まるぐマップ」完成！

表面



裏面



今年度は、昨年度作成した「自然・歴史まるぐマップ」の改良に努めました。昨年度実践プラン1と共に作成した「自然・茂吉コース」、「いにしへの郷コース」、「旧羽州街道コース」の3つのコースのスポットを再度検討し改良しました。新たに追加するスポットや掲載する言葉を一語一句、熱く議論を交わしながらようやく形となりました。地域の方々の深く豊かな知識と熱意があってこそそのより充実したコース内容となりました。

また、今年度はマップをより多くの方々に活用していただけるよう、グルメ情報も加えて掲載しました。老舗のお食事処から近年オープンしたお洒落なカフェまで10店舗を掲載しています。周遊する際や日々の休憩・お食事処として、ぜひお立ち寄りいただけたらと思います。

(マップは略地図ですので、ご不明の際は各店舗のHPをご覧ください)

3つの周遊コース

自然・茂吉コース	いにしへの郷コース	羽州街道コース
出発地点：蔵王駅前		
津金沢の大杉	金井稻荷神社	下間屋跡
愛染神社	片谷地の地藏尊	長秀寺
弥勒大菩薩	地藏寺	松原番所跡
狼石	円龍寺	上間屋跡
はらっぱ館	イザベラバードの常盤橋	金井村役場跡
松原神明神社	氷河期の埋没林	一里塚跡
松原不動尊	念力時	渡辺久右工衛門家
福田神社	片谷地の一本スギ	くろさわ温泉
	甲箭神社	須川河川敷公園
	古峯神社・石割桜	
	谷柏古墳群	
到着地点：蔵王駅前		

◆ 掲載グルメ情報 ◆

- ①与右工門亭 ②ホワイトライス ③焔むら ④久高食堂 ⑤シベール・ファクトリーメゾン ⑥ESCARGOT ⑦yosuga cafe ⑧シエ・ミオ ⑨Meat Meet ⑩Cafe Baby Tears

次年度は実践プラン1と共に3つのコースのガイドツアーを計画中です。実際に「自然・歴史まるぐマップ」を活用しながらガイドツアーを試みます。なお、ガイドツアーだけでなくより多くの方々にマップをご活用いただけるよう、駅、公民館、コミュセン、掲載店舗等に置いていただく予定です。地区の回覧板でも回覧予定です。ぜひ、ご覧ください。

実践プラン4 南山形地区再発見の「講座」開設

3回の講座・シンポジウムを開催しました

平成29年度の実践プラン4の主な活動は、下記の3つの講座の実施です。昨年は5つの講座を実施しましたが、月一回の実施におけるメリットとデメリットを比較検討し、今年度は3回の実施となりました。また、昨年の講座において参加者からの質問や意見が多く出たことを受け、今年度はシンポジウムを2回開催し多くの方々が意見交換できるようにしました。会場も、南山形コミュニティーセンターから設備の整った大学に移し実施しました。その結果、悪天候にもかかわらず多くの方々にお集まりいただき、講師の先生方との熱心なやりとりが生まれ、会場が一体となった熱い講座となりました。参加して下さった方々、ご協力いただきました方々ありがとうございました。

年末に今年度の反省会を行いました。全委員が参加し、今年度の講座内容、運営などについて意見交換を行いました。また、来年度に向けてのプランやテーマのシリーズ化などについて検討されました。近々、具体的な講座内容について最終検討会を行う予定です。さらに良いものになるよう担当者一同務めて参りたいと思います。是非、皆様の講座参加をよろしくお願い致します。

◇ 平成29年度開催講座 ◇

第1回 奈良・平安の窯跡－南山形の発掘調査から－

◇ 講師 : 伊藤 邦弘 氏 (山形県埋蔵文化センター)

6月17日(土) 参加者: 51名
場所: 南山形コミュニティーセンター
(詳しい内容は第5号に詳しく掲載)

第2回 シンポジウム 氷河期の埋没林をいかに保存するか

◇シンポジスト: 山野井 徹 氏 (山形大学名誉教授)
平塚 幸人 氏 (仙台市富沢遺跡保存館学芸員)
司会: 須藤 善友 氏 (本プロジェクト委員長)

8月20日(日) 参加者: 43名
場所: 東北文教大学
(詳しい内容は第5号に詳しく掲載)

第3回 シンポジウム 南山形の民俗と高瀬助次郎を語る

◇シンポジスト: 武田 清一郎 氏 (最上川中流土地改良区理事長)
佐藤 晃 氏 (東北文教大学短期大学部 教授)
司会: 市村 幸夫 氏 (村山民俗学会会員)

10月22日(日) 参加者: 40名
場所: 東北文教大学



南山形独特の貴重な民俗、風習もそれを後世のために記録する心がなくては、すべて失われてしまいます。このたび第3回のシンポジウムでは、南山形の郷土史における詳細な記録を執筆された高瀬助次郎氏の業績を取り上げました。

高瀬助次郎氏は、明治から昭和までの南山形の歴史や風習を、多数の手書きの挿絵を添えた膨大な原稿として残されました。参加者の半数以上の方が、同氏存在を知らないという状況でしたが、3名のシンポジストが、具体的な資料をもとに同氏の業績を見事に描き出してくださいました。当日は悪天候に加え、衆議院選挙投票日であったにもかかわらず足を運んでくださった40名の参加者は、農民として土に生き、郷土を愛した同氏の郷土史への尽きせぬ思いに感慨深く聞き入っておられました。

実践プラン5 「谷柏田植踊」 (20数年中断中) の復活・継承運動

平成29年度出演イベント一覧

1	日本一さくらんぼ祭り・ふるさと芸能のつどい	平成29年6月17日
2	Look for エブリイ伝承祭	平成29年9月23日
3	東北文教祭	平成29年10月8日
4	南山形商工会創立50周年記念式典	平成29年10月15日
5	南山形地区文化祭	平成29年10月29日
6	老人施設慰問	平成29年12月9日
7	やまがた文化遺産まつり	平成30年3月25日



今年度は、昨年度およそ20年ぶりに復活した谷柏田植踊を継承すべく、学生自治会活動として、民俗芸能サークル「舞」を立ち上げ、地域の方々と共に精力的に活動しました。特に、今年度は、第一演目の「お正月」に加え、第二演目「思う人」においても、昔の貴重な映像資料をもとに復活させることができ、様々なイベントに出演する機会をいただきました。

また、1月19日には、黒沢温泉「喜三郎」にて、卒業生を祝う会が開かれました。これは、地域の方々から、学生の門出を是非祝いたいとの思いで企画されたものでした。宴会では、美味しいお食事をいただきながら、祝舞や歌、サプライズプレゼントなど地域の方々からの心温まるおもてなしを頂戴し終始賑やかな会となりました。開催して下さった地域の方々に厚く感謝申し上げます。

そして現在は、次年度の活動に向けて、卒業生から新入部員への引継ぎを行っています。新入部員は現在8名おり、男子も4名入部しました。短大生が主なメンバーであるため、伝承していくのは大変ですが、新たな風に期待が膨らみます。また今後とも、ご支援・ご指導の程よろしくお願い致します。



PICK UP NEWS!

「谷柏田植踊 デジタルアーカイブ」

総合文化学科2年生の上島優理香さんが卒業研究の一環で、「谷柏田植踊デジタルアーカイブ」を作成して下さい、谷柏田植踊の継承に大きく貢献して下さいました。谷柏田植踊の概要、動き、歌、口上、衣装についてなどわかりやすくまとめてあります。大学のHPから閲覧することが出来ますので、是非ご覧ください。

今回も「うづぐすえ」第6号をご覧いただきありがとうございました。次年度も本プロジェクトの活動内容や南山形のうづぐすえ～な情報をお届けしていきたいと思っております。また、本プロジェクトのHPもありますので、PCやスマートフォンからも閲覧することができます。本学HPからもリンク可能です。
URL : <http://uzugusue.netj.jp/>

●事務局連絡先

〒990-2316 山形県山形市片谷地515
東北文教大学・南山形地区創生プロジェクト委員会
東北文教大学「未来に伝える山形の宝」事務局
TEL : 023-688-2298